

## 臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2023年11月28日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	肺血流依存性動脈管に対する最適な動脈管ステント留置方法
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	循環器科 田中 靖彦
研究期間	2007年～2022年
対象者	研究期間中に肺血流依存性動脈管の先天性心疾患患者さんで、動脈管ステント留置術を行った9名を対象としています。
当該研究の意義・目的	肺血流依存性動脈管の先天性心疾患では、肺血流を維持するために姑息治療を行います。これまでは外科的手術である体肺動脈短絡術が主流でした。しかし、新生児や体格が小さいなど、外科的手術がハイリスクな症例では、カテーテル治療による動脈管ステント留置術の有効性が近年示唆されています。今回当院で治療させていただいた患者さんの情報を整理し、治療方法について検討させていただきました。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・背景因子（年齢、体重、診断など）、</li><li>・動脈管の形態とサイズ</li><li>・カテーテル治療に際しての穿刺血管と使用物品</li><li>・ステント留置後の経過</li></ul>
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記のとおりです。お問い合わせ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考える範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 循環器科 沼田 寛 IVRセンター / 循環器科 金 成海 代表 054-247-6251